

平成30年7月30日
農業技術センター技術普及部

標題	若手普及員を対象にマーケティング・6次産業化研修を開催
-----------	------------------------------------

(ダイジェスト)

6月11日、マーケティング・6次産業化を担当する新任普及員17名を対象に、この分野の普及活動の基本を学ぶことを目的に、研修会を開催しました。

普及活動支援アドバイザー(6次産業化)の生田千枝子氏から、6次産業化に係る普及指導活動の基本姿勢と普及指導員への期待についてお話しいただくとともに、浜田市内の女性グループや農業法人の6次産業化事例、道の駅でのマーケティング事例を学びました。

研修では、普及OBである生田アドバイザーから、ご自身の経験に基づく県の農産加工活動支援の流れや6次産業化の取り組み事例を伺い、若手普及員からは6次産業化のイメージが今までよりも明確になり、「普及員は農業者の相談役、関係機関とのつなぎ役である」という普及員としての心構えも学び、今後の普及活動に活かしたいといった意欲的な言葉も多く聞かれました。

また現地調査では、浜田市の「金城加工友の会」、「株式会社藤若農産」における地元食材を活用した6次産業化の取り組み、江津市の「道の駅サンピコごうつ」における産直活動や学校給食の取り組みについて、代表者から説明を伺い事例収集を行いました。

普段、専門外の現場を見る機会の少ない若手普及員にとって、現地調査を通じて様々な経営規模・形態の事例を見たり、農業者から普及員とのこれまでの関わりや普及員に求める情報やコミュニケーションの必要性などについて直接聞くことができ、貴重な経験となったようです。

今回の研修で得た情報やアドバイスを普及員として大事にし、今後の6次産業化支援、販売活動支援に活かして欲しいと思います。



生田アドバイザーの講義



(株)藤若農産の加工施設見学